



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ダイセル

コード番号 4202 URL <http://www.daicel.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 札幌 操

問合せ先責任者 (役職名) IR広報グループリーダー (氏名) 畑 理史

TEL 03-6711-8121

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日

平成25年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	196,961	11.1	17,589	29.1	19,218	40.0	12,143	68.9
25年3月期第2四半期	177,320	5.4	13,625	18.7	13,731	17.2	7,190	24.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 22,306百万円 (452.0%) 25年3月期第2四半期 4,041百万円 (44.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	34.53	—
25年3月期第2四半期	20.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	487,815	281,823	52.7	730.61
25年3月期	461,512	262,899	52.2	685.11

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 256,955百万円 25年3月期 240,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	407,000	13.5	36,000	37.4	38,000	33.0	21,000	36.6	59.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	364,942,682 株	25年3月期	364,942,682 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	13,242,927 株	25年3月期	13,226,066 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	351,709,018 株	25年3月期2Q	351,737,370 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。なお予想の前提条件その他の関連する事項については4ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、円高の緩和を背景とした輸出環境改善など、景気持ち直しの動きがみられました。しかし、依然として実需の回復に力強さはなく、景気の下振れリスクや為替の変動など、引き続き予断を許さない状況のうちに推移いたしました。

このような環境の中、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、1,969億61百万円（前年同期比11.1%増）となりました。利益面では、営業利益は175億89百万円（前年同期比29.1%増）、経常利益は192億18百万円（前年同期比40.0%増）、四半期純利益は121億43百万円（前年同期比68.9%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

[セルロース事業部門]

酢酸セルロースは、液晶表示向けフィルム用途は微減となりましたが、たばこフィルター用途が増加し、売上高は増加いたしました。

たばこフィルター用トウは、網干工場の2年に1度の定期修繕などによる減産がありましたが、7月から大竹工場と網干工場での増産が寄与したことや、海外向け販売が好調に推移したこと、販売価格是正、為替の影響により、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、435億41百万円（前年同期比20.0%増）、営業利益は、販売価格の是正や為替の影響などにより、89億63百万円（前年同期比33.1%増）となりました。

[有機合成事業部門]

主力製品の酢酸は、網干工場の2年に1度の定期修繕を実施したことや、高純度テレフタル酸（PTA）向けの需要減少などにより販売数量が減少しましたが、販売価格の是正や為替の影響により、売上高は増加いたしました。

酢酸誘導体及び各種溶剤類などの汎用品は、塗料用途などの販売数量が減少しましたが、液晶パネル向けなど電子材料分野への販売数量が増加したことや為替の影響により、売上高は増加いたしました。

カプロラクトン誘導体やエポキシ化合物などの機能品は、電子材料向けの販売数量増加や為替の影響により、売上高は増加いたしました。

光学異性体分離カラムなどのキラル分取事業は、カラムの販売が好調に推移したことや為替の影響により、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、386億26百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は、為替の影響などにより、33億10百万円（前年同期比36.4%増）となりました。

[合成樹脂事業部門]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどのエンジニアリングプラスチックは、12月を決算期としているポリプラスチック株式会社グループが事業を行っております。当第2四半期にあたる平成25年1～6月においては、自動車の生産台数減少や、電子デバイス製品の販売低調の影響を受け販売数量は減少しましたが、為替の影響により、売上高は増加いたしました。

ABS樹脂、エンブラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、自動車部品向けなどが堅調に推移し、売上高は増加いたしました。

シート、成形容器、フィルムなどの樹脂加工事業は、主に原燃料高に伴う販売価格是正を実施したことにより、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、741億40百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は、販売数量の減少などにより、54億1百万円（前年同期比13.5%減）となりました。

[火工品事業部門]

自動車エアバッグ用インフレーター（ガス発生器）及びシートベルト・プリテンショナー用ガス発生器（PGG）は、北米自動車市場の拡大基調の継続や中国での日本車販売の回復、為替の影響により、売上高は増加いたしました。

発射薬、ミサイル構成部品、航空機搭乗員緊急脱出装置関連製品などの特機事業は、一部製品の防衛省による調達数量減少により、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、378億23百万円（前年同期比18.4%増）、営業利益は、販売数量の増加や為替の影響などにより、42億55百万円（前年同期比92.1%増）となりました。

[その他部門]

水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業は、下水道分野向けが堅調に推移しましたが、医療分野向けなどの需要が落ち込み、売上高は減少いたしました。

運輸倉庫業など、その他の事業の売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、28億29百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は、37百万円（前年同期比90.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

総資産は、現金及び預金の減少などがありましたが、有価証券、たな卸資産、有形固定資産の増加などにより、前連結会計年度末に比し263億3百万円増加し4,878億15百万円となりました。

負債は、短期借入金の減少などがありましたが、社債の増加などにより前連結会計年度末に比し73億79百万円増加し、2,059億92百万円となりました。

また純資産は、2,818億23百万円となりました。純資産から少数株主持分を引いた自己資本は、2,569億55百万円となり自己資本比率は52.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は177億86百万円（前年同期は、229億9百万円の増加）となりました。資金増加の主な内容は、税金等調整前当期純利益209億27百万円及び減価償却費115億13百万円であり、資金減少の主な内容は、法人税等の支払額73億16百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は152億26百万円（前年同期は、184億72百万円の減少）となりました。資金減少の主な内容は、有形固定資産の取得による支出127億31百万円及び関係会社株式の取得による支出29億10百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の増加は26億68百万円（前年同期は、59億18百万円の減少）となりました。資金増加の主な内容は、社債の発行による収入198億94百万円であり、資金減少の主な内容は、短期借入金の純減少額69億61百万円、長期借入金の返済による支出76億96百万円及び配当金の支払額24億62百万円であります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は607億35百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済は、景気の回復が期待されるものの、実需の回復に力強さがみられないなど、景気が下振れするリスクもあり、予断を許さない状況が続くと予想されます。

このような状況下、当社グループは、中期計画「3D-I」の基本戦略である新規事業の創出、コア事業のさらなる強化、コスト競争力の強化、グローバルでの事業展開の拡大・強化などを着実に遂行しております。

当社グループの通期の業績見通しにつきましては、経済情勢の先行きが不透明であることや、原燃料価格の高騰が見込まれるものの、当第2四半期連結累計期間の業績が前回発表予想を上回ったことを踏まえ、売上高4,070億円、営業利益360億円、経常利益380億円、当期純利益210億円を予想しております。

<平成26年3月期の連結業績予想>

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	405,000	35,000	36,000	20,000	56円86銭
今回発表予想 (B)	407,000	36,000	38,000	21,000	59円71銭
増減額 (B-A)	2,000	1,000	2,000	1,000	
増減率 (%)	0.5	2.9	5.6	5.0	
(ご参考) 前期実績	358,513	26,196	28,580	15,372	43円71銭

※上記業績予想数値は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,005	40,458
受取手形及び売掛金	76,970	79,150
有価証券	7,741	21,134
たな卸資産	82,977	86,666
その他	17,696	16,315
貸倒引当金	△190	△134
流動資産合計	232,200	243,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	45,874	47,426
機械装置及び運搬具（純額）	53,663	57,072
土地	26,707	26,774
建設仮勘定	20,545	22,015
その他（純額）	2,532	2,546
有形固定資産合計	149,323	155,836
無形固定資産		
のれん	5,410	5,339
その他	8,195	8,324
無形固定資産合計	13,605	13,664
投資その他の資産		
投資有価証券	49,059	57,904
その他	17,524	17,040
貸倒引当金	△201	△220
投資その他の資産合計	66,382	74,724
固定資産合計	229,312	244,225
資産合計	461,512	487,815
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,896	50,087
短期借入金	19,118	13,069
1年内返済予定の長期借入金	13,211	10,174
未払法人税等	5,842	3,909
修繕引当金	3,006	858
その他	22,150	20,670
流動負債合計	113,226	98,769
固定負債		
社債	20,000	40,000
長期借入金	46,768	45,185
退職給付引当金	11,834	12,502
役員退職慰労引当金	74	82
修繕引当金	70	339
資産除去債務	1,049	1,070
その他	5,589	8,043
固定負債合計	85,386	107,223
負債合計	198,613	205,992

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	31,579	31,579
利益剰余金	164,927	174,609
自己株式	△6,025	△6,039
株主資本合計	226,757	236,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,001	18,211
繰延ヘッジ損益	△185	19
為替換算調整勘定	△609	2,299
その他の包括利益累計額合計	14,207	20,530
少数株主持分	21,935	24,868
純資産合計	262,899	281,823
負債純資産合計	461,512	487,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	177,320	196,961
売上原価	136,717	150,223
売上総利益	40,603	46,738
販売費及び一般管理費	26,978	29,149
営業利益	13,625	17,589
営業外収益		
受取利息	171	188
受取配当金	494	586
持分法による投資利益	663	377
為替差益	—	866
その他	726	633
営業外収益合計	2,055	2,652
営業外費用		
支払利息	634	553
為替差損	828	—
その他	486	469
営業外費用合計	1,949	1,022
経常利益	13,731	19,218
特別利益		
固定資産処分益	6	285
投資有価証券売却益	—	1,923
特別利益合計	6	2,208
特別損失		
固定資産除却損	313	499
投資有価証券評価損	507	—
厚生年金基金脱退損失	566	—
特別損失合計	1,386	499
税金等調整前四半期純利益	12,350	20,927
法人税、住民税及び事業税	4,316	5,429
法人税等調整額	△646	1,757
法人税等合計	3,670	7,187
少数株主損益調整前四半期純利益	8,680	13,740
少数株主利益	1,490	1,596
四半期純利益	7,190	12,143

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,680	13,740
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,205	3,268
繰延ヘッジ損益	17	334
為替換算調整勘定	△524	4,254
持分法適用会社に対する持分相当額	72	709
その他の包括利益合計	△4,639	8,566
四半期包括利益	4,041	22,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,183	18,466
少数株主に係る四半期包括利益	1,858	3,839

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,350	20,927
減価償却費	11,823	11,513
のれん償却額	177	408
受取利息及び受取配当金	△666	△774
支払利息	634	553
持分法による投資損益(△は益)	△663	△377
固定資産除売却損益(△は益)	306	214
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,923
売上債権の増減額(△は増加)	825	△92
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,103	△1,685
仕入債務の増減額(△は減少)	1,127	△1,768
その他	2,677	△3,103
小計	23,489	23,892
利息及び配当金の受取額	1,098	1,736
利息の支払額	△623	△525
法人税等の支払額	△1,054	△7,316
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,909	17,786
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額(△は増加)	1,000	△507
有形固定資産の取得による支出	△11,082	△12,731
有形固定資産の売却による収入	5	262
無形固定資産の取得による支出	△329	△594
投資有価証券の取得による支出	△10	△1,885
子会社株式の取得による支出	△7,297	—
関係会社株式の取得による支出	—	△2,910
投資有価証券の売却及び償還による収入	13	3,223
貸付けによる支出	△6	△116
貸付金の回収による収入	29	4
その他	△794	29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,472	△15,226

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,501	△6,961
長期借入れによる収入	1,518	814
長期借入金の返済による支出	△8,192	△7,696
社債の発行による収入	—	19,894
自己株式の取得による支出	△3	△14
配当金の支払額	△1,758	△2,462
少数株主への配当金の支払額	△983	△906
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,918	2,668
現金及び現金同等物に係る換算差額	△470	2,268
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,952	7,497
現金及び現金同等物の期首残高	33,435	53,238
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	7	—
連結子会社の決算期変更に伴う期首現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	349	—
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	318	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,158	60,735

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロー ス事業	有機合 成事業	合成樹脂 事業	火工品事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	36,279	35,724	70,397	31,942	174,343	2,976	177,320	—	177,320
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,311	7,603	5	—	8,920	4,767	13,687	△13,687	—
計	37,590	43,327	70,403	31,942	183,264	7,743	191,007	△13,687	177,320
セグメント利益	6,732	2,426	6,247	2,215	17,622	378	18,001	△4,375	13,625

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△4,375百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロー ス事業	有機合 成事業	合成樹脂 事業	火工品事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	43,541	38,626	74,140	37,823	194,131	2,829	196,961	—	196,961
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,292	8,690	1	—	9,984	4,620	14,604	△14,604	—
計	44,833	47,316	74,141	37,823	204,115	7,450	211,566	△14,604	196,961
セグメント利益	8,963	3,310	5,401	4,255	21,931	37	21,969	△4,379	17,589

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△4,379百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。